



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R5 CS通信No.4 R5.6.14



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

学校支援ボランティアの協力で 体力テスト実施



5/18(木)西海小学校で、体力・運動能力の現状を明らかにし、日常の体育及び生活指導に役立てることを目的に体力テストが行われました。

体力テストには、コーディネーターの工藤律子さんの呼びかけで、学校支援ボランティアが5名集まり、体力テストの支援を行いました。

子どもたちは、縦割り班ごとに会場を回り、先生方や学校支援ボランティアの皆さんの話を聞きながら、体力テストに臨んでいました。

学校支援ボランティアの皆さんからは、「子どもたちが先生の話をよく聞いて体力テストを行っていて、測定がスムーズに進んでいる。」「種目ごとにボランティアが入るので、役割分担が明確で支援しやすい。」

「依頼されればいつでも協力したい。」というお話がありました。

また、地域の方が関わることによって、「お願いします。」「ありがとうございました。」の挨拶がよくできていました。

鯨高生徒の協力で盛り上がった運動会



5/27(土)舞戸小学校の運動会には、鯨ヶ沢町連合婦人会の皆さんやつくし荘の皆さんをはじめ、たくさんの地域の方々や来賓が訪れ、盛り上がりました。

運動会に地域の方々や来賓が訪れたのは、実に3年ぶりのことです。

今年の運動会では、舞戸小担当コーディネーターの渋谷貴子さんが、鯨ヶ沢高校に協力をお願いして、6人の生徒が参加・協力しました。

6人の生徒は、わさおやひらめとづけどんの着ぐるみを着用し、児童を応援し、運動会を盛り上げました。

第1回学校運営協議会の様子



5/24(水)今年度1回目の学校運営協議会が開催されました。初めに、新しい委員として、民生委員児童委員協議会長の後藤治美氏、鯨ヶ沢中PTA会長の井上美雪氏が紹介されました。

次に、各校校長先生より、今年度の学校運営方針について詳しい説明がありました。

西海小の川浪校長先生は、協調性と努力の大切さを学ばせ、自信を育てることをすべての教育活動で取り組むことを強調していました。

舞戸小三橋校長先生は、ふるさとを大事にする子どもを育てていきたいことやそのことが求められていることを説明しました。

鯨ヶ沢中の相馬校長先生は、できるだけ子どもたちに考えさせたり、話し合わせたりすることを大事にしていきたいと話していました。